

2.4 現地調査


抽出した14地点について現地調査を行い、流況、水量、落差、地形、既設送電線の有無、道路、立地環境、電力用途、啓発効果、施工性、安全性等を把握した。

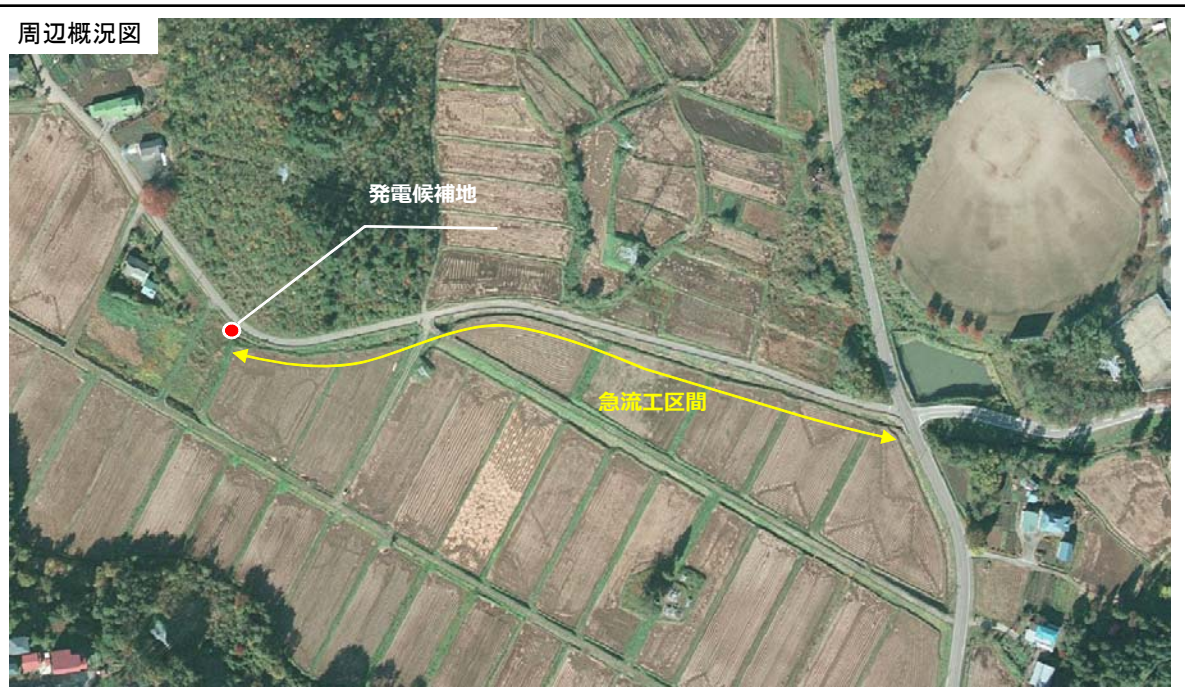
各地点の現地調査結果を以下に示す。

候補地 1 : 下堰幹線用水路



位置情報

候補地NO	1		
発電候補地	地点名	下堰幹線用水路	
	施設名称	下堰幹線用水路	
	施設所在	河東町 東長原 字東高野	
施設管理者	会津東部土地改良区		



現地状況



急流工（近景）



急流工（遠景）



急流工下流部の落差工



発電候補地の状況

諸条件

流況	非灌漑期に調査を行ったが一定の流量が流れており良好である。
流量	調査時点で0.2m ³ /s程度。
落差	急流工の全体を利用すれば10m以上の落差が得られる。
地形	概ね平坦な地形で水路部分だけが掘りこまれている。
送電線	発電候補地点に電柱が近接している。
道路	発電候補地点に車道が近接している。交通量は少ない。
立地環境	発電候補地点の近隣に民家があり、騒音に注意する必要がある。
電力用途	付近に電力用途はなく売電が現実的である。
啓発効果	生活道路に近接しており目につきやすい。
施工性	車道に近接しており施工性は良い。
安全性	すでに安全柵が設けられている。